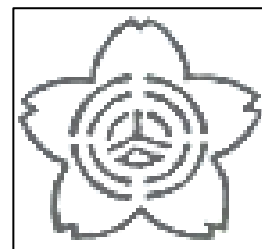


改めて気づく西谷の良さ

今年も12月を迎えました。あと1か月もすればお正月です。時の経つのは早いなあをつくづく思います。

さて、来年度から始まる小規模特認校制度ですが、11月15日までの募集に合わせて、関心のある他地域の保護者の方々が学校見学（面談）に来られました。来られた時は次のようなこととお話しました。



- ①西谷小学校で行っている教育について
- ②現在の児童の様子や雰囲気について
- ③少人数であることの良さとマイナス面について
- ④通学方法や距離・時間、道路事情について
- ⑤複式学級の概要、取組の良さとマイナス面について
- ⑥PTCA活動への理解と協力について
- ⑦その他必要と思われること

そして、最後に校内見学を行います。

この中に、少人数であることや複式学級のマイナス面と書いてあるので、どういうこと？と思われる方もおられるかも知れませんが、少人数なので校外学習費や卒業アルバム代など他校に比べて費用がかかること、チーム編成が難しいため体育の実技競技が制限されること、算数のように同室で2学年が違う内容を学習する場合に指導者が両方を見るので直接指導を行う時間が短くなること、2学年の履修内容を混合して2つに分けて学習するので違う学年の内容を履修すること、などを説明します。

このことだけに注目すれば、西谷小学校は課題ばかりの学校と思われるかも知れませんが、反対に良い面も伝えています。子どもたちが素直で優しくアットホームな雰囲気であること、どの児童も全校生の顔と名前を知っていて学年を超えての関わりが多くあること、西谷の豊かな自然と温かい地域に守られて成長できること、西谷の環境等を生かした学習内容に取り組んでいること、地域の方々が子どもたちの学びの支援にとっても協力的であること、園小中が連携した教育に取り組んでいること、学習の中で必ず全員が発言したり体験したりできること、自分たちで学習を進めていく場面が多いので自主的・協力的な態度が身につくこと、担任外の教員が指導する場面が多く全ての教員が全校生をしっかりと見ることができること、少人数なのでいろいろなことに臨機応変に対応できること、「やっっちゃえ西谷」をスローガンにして何にでも挑戦できる土壤があること、など書ききれませんが、具体的にエピソードを交えて話すので、ついつい時間を忘れてしまいます。話をしてみて、つくづく良いところがたくさんあるなあ改めて感じました。

こういう良さを守り生かしながら、これからも子どもたちのより成長につながる教育に取り組んでいきます。